

司式 杉山昌樹牧師

前 奏

奏楽 五十嵐美代枝姉

開 会 招 詞 ヨハネによる福音書4章23-24節

* 賛 美 歌 17:1 (ソングシート)

1. エサイの根より 生いいでたる。くすしき花は さきそめけり、

わが主イエスの うまれたまいし このよき日よ。アーメン

* 開 会 祈 禱

罪 の 告 白 祈 禱 書 2 罪 の 告 白 ①

神よ、わたしを憐れんでください。御慈しみをもって。深い御憐れみをもって、背きの罪をぬぐい去って
 ください。わたしの咎をことごとく洗い、罪から清めてください。わたしは咎のうちに産み落とされ、
 母がわたしを身ごもったときも、わたしは罪のうちにあったのです。わたしを洗ってください。雪よりも
 白くなるように。神よ、わたしの内に清い心を創造し、新しく確かな霊をさずけてください。救いの喜び
 を再びわたしに味わわせ、自由の霊によって支えてください。主よ、わたしの唇を開いてください。この
 口は、あなたの賛美を歌います。 主イエス・キリストの御名によって。アーメン。 (詩編51)

罪の赦しの宣言

十 戒 祈 禱 書 4

1. あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
2. あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。
3. あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、みなをみだりに唱える者を、罰しないではおかない。
4. 安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
5. あなたの父と母を敬え。
6. あなたは殺してはならない。
7. あなたは姦淫してはならない。
8. あなたは盗んではならない。
9. あなたは隣人について偽証してはならない。
10. あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人のものをむさぼってはならない。 (出エジプト20、申命記5)

* 賛 美 歌 17:2

2. イザヤの告げし すくいぬしは、きよき母より うまれましぬ。主のちかいの 今しも成れる
 このよき日よ。アーメン

公 同 の 祈 禱 教会設立記念日(12月第二主日)

教会のかしらイエス・キリストの父なる神さま、この町にも教会をお建てになり、この世に神の国を

ひろ せんきょう きち かんしゃ
拡げていく宣教の基地としてくださいましたことを感謝します。

きょうかい あい しゅ つか すべ せいと おぼ さいし たみ
この教会を愛し、主に仕えた全ての聖徒たちを覚え。彼らのように、わたしたちを祭司の民とし
て、あなたに仕えることができるように、力を与えてください。アーメン

(エフェソ1、Iテモテ3、Iペトロ2)

献 金 (黒) 教会活動 (赤) CRJM 70

今献ぐるそなえものを 主よ 清めて受けたまえ アーメン

聖書朗読 詩編27編4-6節 (旧約聖書657頁)

テモテI3章14-16節 (新約聖書386頁)

説教・祈祷 「神の家」熊田雄二引退教師

* 賛美歌 17:3

3. たえにとうとき イエスの御名の かおりはとおく 世にあまねし。いざやともに よろこび
いわえ、このよき日を。アーメン

聖餐式

* 主の祈り 祈祷書1

てん われ ちち
天にまします我らの父よ

ねが み な
願わくは御名をあがめさせたまえ

みくに き みこころ てん ち
御国を来たらせたまえ 御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ

われ にちよう かに きょう あた
我らの日用の糧を 今日も与えたまえ

われ つみ おか もの われ ゆる
我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく 我らの罪をも赦したまえ

われ こころ あ あく すく いだ
我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ

くに ちから さか かざ なんじ
国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン。

* 頌 栄 65

父、み子、みたまのおおみかみに、ときわにたえせずみさかえあれ。アーメン

* 祝 禱

後 奏 (黙禱)

報 告 門脇陽子長老 (司会・受付 次週：雨宮信長老)

本日 受付 1階：加藤良明・佐藤紀子執事 2階：古澤迪子執事 /ZOOMホスト・録音：大日
南信也

次週 受付 1階：藤井牧子・那珂信之執事 2階：星野房子執事 /ZOOMホスト・録音：雨宮
信

※ グループ制により、長老も1階と2階に一名ずつ加わります。

I 教会設立57周年

祈祷書には、伝道開始記念日と教会設立記念日と二つあります。「昔々、神学校を卒業したばかりの若い伝道者夫婦と一人のおばあさんが、アパートの一室で・・・」というストーリーは、伝道開始記念日です。今から60年前、1962年5月6日のことです。

「北米キリスト改革派教会ジャパン・ミッション上福岡伝道所が独立して、日本キリスト改革派教会東部中会に加入・・・」と、ちょっと固いのが教会設立記念日です。1965年12月12日で、12月第二主日でした。

教会設立とは「神の家」をきちんと建てることです。目に見える柱や土台のある会堂は、材料力学や材料実験、構造力学や構造実験が大事です。地震で建造物が崩壊すると、基礎工事のウソがバレることがあります。旧会堂が築43年でも建物付きで売れたことは、材料や構造がしっかりしていたことを意味します。同じ業者が新会堂を造ってくれました。

「真理の柱であり土台である生ける神の教会」とは、目に見える建物ではないのですが、霊的な基礎工事がやはり大事です。「真理の柱であり土台」というその「真理」とは、16節「信心の秘められた真理は確かに偉大です。すなわち、キリストは肉において現れ、「霊」において義とされ、天使たちに見られ、異邦人の間で宣べ伝えられ、世界中で信じられ、栄光のうちに上げられた」とある通り、聖書的信仰告白です。

II 教会設立とは

① 16節は、初代教会の信仰告白文の一つとされています。そこで、詩のかたちに訳してあります。「キリストは肉において現れ」とクリスマスから始まるので、天から降りて来られたキリストと、「栄光のうちに上げられた」昇天のキリストの間に、二つのことがサンドイッチされています。第一は霊の世界でのこと、第二は目に見えるこの世界でのことです。

② 第一は、霊の世界での出来事「霊において義とされ、天使たちに見られ、」、第二は、この世界での出来事「異邦人の間で宣べ伝えられ、世界中で信じられ、」で、このサンドイッチの味わいは、低い状態のキリストと高い状態のキリストがサンドイッチの中身です。

低い状態でキリストは見えるようになりましたが、そこでは人間の目には見えない霊的な出来事が起こりました。高い状態でキリストは見えないようになりましたが、そこから人間の目に見える世界宣教が起こっています。この二つは、いずれも不思議なことであると同時に希望のあることです。

天から低く下ったキリストは、人の目に見えるこの世の出来事としては悲劇に終わったように見えますが、実は人間の目には見えない霊的な出来事が起こっていたのです。十字架の主導権は神にあり、預言通りのことが起こりました。そこで、まず神の国と神の義がますます近づいて来ました。

「義とされる」という、義とは何でしょうか？ ロシアのウクライナへの戦争に「大義」はあるのでしょうか。「大義」とは「大きい義」ですが、義とは正しいという意味です。「義

とされる」とは正しいとされるという意味です。ロシアのウクライナへの戦争に「大義はあるか」という場合、止むを得ない合法的な戦争か、それとも不当な侵略戦争かという意味で正しさが問われます。

「霊において義とされる」とは、裁判長である神の前で「あなたは正しい、無罪」と宣言されることです。裁判長である神と、弁護士になった神の子イエスとの関係での「義」が、イエスをキリストと信仰告白する者にとっては「大いなる義」、大義中の大義です。

十字架の死に至るまで神に従順であったイエスを、神が甦らせた、その復活とは、「神の義」の宣言であります。キリストは「霊において義とされ」ましたが、それは、彼を信じる者が滅びないで永遠の命を持つためです。イエス・キリストの十字架と復活によって、罪の赦しと新しい命を持つ者は、イエスといっしょに、神の前で「義」と宣言されるのです。

だから、この世の出来事としては十字架の死は悲劇に終わったように見えますが、人間にとって希望のある出来事が起こったのでした。わたしたちは皆、この世を去って見えない世界に移されるとき、裁判長である神の前に立たされます。その時、イエスをキリストと信じる者には、「あなたは正しい、無罪」と、神から宣言されるのです。「天使たちに見られ」とは、そのことの証言者でありましょう。見えない霊的な世界では、悲劇ではなく希望のあることが起こったのです。

③ 天に上げられた高い状態でキリストは見えなくなりましたが、そこから人間の目に見える世界宣教が起こって今日に至っているのです。「異邦人の間で宣べ伝えられ、世界中で信じられ」というフレーズは、世界史の激動の中で続いている真実です。これがなかったら、わたしたちに希望はないし、今ここにいません。しかし、2000年前から今に至るまで、これは、世界史の最も確実な出来事です。世界中の大国は次々と消えていったり、勢いを失っていったのに、キリストの国は世界中に宣べ伝えられ、信じる者が起こされていきました。

キリスト教的な国は永遠ではなのですが、キリストの国は永遠です。それは、信仰によって広がる神の国です。領土も国境も見えないけれども、神を礼拝する教会があるところは、どこも永遠の神の国の一部です。教会は地上の神の国の都です。

「キリストは肉において現れた」低い状態、「栄光のうちに上げられた」高い状態、この二つことは、いずれも不思議なことであると同時に希望のあることです。2000年を振り返ってみたら、いちばん確かな出来事です。一人の人がたった30年の生涯を死刑で終わったことから始まったのですから、不思議です。イエスはただの人ではなく、神の御子であり、神の子イエスによって神の業がなされました。

III 教会設立と信仰告白者

① 教会設立とは「神の家」をきちんと建てることですが、「神の家」とは、15節「真理の柱であり土台である生ける神の教会」です。「真理の柱であり土台である生ける神の教会」の「真理」とは、聖書的信仰告白です。その聖書的な信仰告白をするのは誰か。これが教会設立と関わります。

まず、信じて洗礼を受けた者は皆、聖書的信仰告白をした者です。しかし、洗礼を受ける段階では、誓約6ヶ条という、使徒信条くらいの信仰告白がその内容です。聖書はすべ

て神の言葉であり真理ですと告白するのは役員、牧師・長老・執事です。

② だから、14～16節の段落は、その前に「監督の資格」、「奉仕者の資格」と小見出しがあることから続いていることが、大事な視点です。聖書信仰の全体を告白することが求められるのは、キリストの職務を担う牧師・長老・執事なのです。教会設立の最低条件は、牧師一人と長老二人ですが、理想的には、始めから執事も含めてキリストの三職がそろっていた方がよいでしょう。

③ キリストが世界中に宣べ伝えられてきた今日まで、良い時代などありません。キリストの十字架からほどなくしてローマ帝国による迫害が起こりました。300年くらい経って迫害が終わりローマ帝国の宗教になったのでよかったなと思ったら、教会が権力も手に入れようとして墮落し、宗教改革と宗教戦争が起こりました。今現在の世界情勢は、宗教と民族主義・国家主義が合体しつつあるので、信教の自由と政教分離の原則は後退気味です。経済危機と戦争のうわさ。地震や疫病による地球の破滅のうわさ。どれもこれも、終わりの時代に起こる事として、キリストがあらかじめ言っておられたことです。

牧師始め、教会役員たる者、どんなときでも、慌てず油断せず希望を持つことが大事です。キリストの来臨であるクリスマスからキリストの再臨までは、いつでも終わりの時代であるという聖書信仰に堅く立つこと。そうすれば、16節のキリスト告白は、信徒の心の中でいつでも真理として堅く守られます。信じる者の群れである教会は堅く立ち続けます。

伝道を開始してくださった宣教師と牧師は、最初からキリストの教会を立てるために伝道を開始してくださいました。教会の基礎である土台は、正しい信仰告白です。もう一度14～16を朗読します。